

中国 5 県における地域格差及び所得格差による課題を解決し、
暮らし続けられる地域をつくる事業

公 募 結 果

■ 概要

選考結果	採択
団体名	特定非営利活動法人 NPO 狩留家
代表者名	理事長 黒川 章男
申請事業名 主題	狩留家特産「狩留家なす」の物流センターを整備し地域の活性化を推進する
申請事業名 副題	広島に一番近い本物の田舎と言われる狩留家に「ひと」「しごと」「地域資源」などの好循環モデルを形成
エリア／テーマ	【広島県エリア】 「ひと」「しごと」「地域資源」等の好循環モデル形成
解決すべき社会課題	【領域】 1) 子ども及び若者の支援に係る活動 2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動 3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動 【分野】 ⑥ 地域の働く場づくりの支援 ⑦ 安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援
申請事業の概要	「狩留家なす物流センターを整備し地域の活性化を推進する」 狩留家の中心地に「拠点」を作る目標を作って広島市に要請している。しかし、単に市への申請、要請するだけではなく自助・共助として拠点の目標地域に自らも出店して全体のムード盛り上げをすることが必要と考えている。 狩留家の町づくりを推進するために「狩留家なす」事業を始めて 7 年目を迎えている。お客様からの好評を得て栽培面積を拡大し出荷量を増大させるため、今後販売ネット網を拡大していくためにも物流センターの整備と狩留家なすレストランの設置が必要である。しかし、整備予定地に下水道が整備されるまでには 1～2 年が必要とされている。したがって、まず下水道設備が未整備でも稼働が可能な「狩留家なすの物流センター」を整備し下水道整備後、同センターを「複合農産物の流通加工センター」に増改築し、隣接地に「狩留家なすレストラン」を稼働させたい。 まず、狩留家の拠点に物流センターを整備し、その後「狩留家なすレストラン」を稼働させることで、周辺への店舗の出店や広島市によるコミュニ

	ティーセンターの建築ムードを盛り上げて「狩留家の拠点」づくりを推進する。
事業実施地域	広島市安佐北区狩留家町
申請事業期間	資金提供契約締結日より2023年3月まで
申請助成額	1,000万円

■ 審査コメント

- ✓ 申請事業は、狩留家のまちづくりの拠点を作るために、7年目を迎えた「狩留家なす」の物流センターを整備することを目的としている。将来的には、「複合農産物の流通加工センター」や「狩留家なすレストラン」を稼働させて、一帯をコミュニティセンター化しようとする将来的な計画は評価できる。
- ✓ 申請団体の組織は、地区社協、町内会連合会、町づくり協議会などの地縁組織を母体とした、連合体的な組織であり、他団体との連携はできている。
- ✓ 地域の名産品の「狩留家なす」を出荷し、地域経済循環を創り出す活動は地域に波及効果も期待されます。
- ✓ 地域の特産品の販路拡大、生産拡大は簡単なことではなく、これまでのご努力に敬意を表したい。
- ✓ 申請団体の活動目的には、「高齢者の生活支援」とあることから、本プランで整備を希望されている施設においては、シニアの就業の場となることをめざしていると理解し、そこに地域効果の創出ポイントを描かれていると推察した。この点、元気で経験やスキルを有するシニアがいきいきと活動する社会づくりに資する活動と解せられる。
- ✓ 一次産業を含めた申請については評価できる。
- ✓ 地域への波及効果はわかりやすい。
- ✓ 経済循環が生まれる可能性がある。
- ✓ 物流センターの整備がどのように町づくりを支援していくことになるのか、その関連が明確にはみられない。すなわち広島市が将来的に構想している、狩留家コミュニティセンターとの関係や連携が具体的にどのようになるのか、あるいは申請団体がどのようにかかわっていくのかの見取り図が欲しい。
- ✓ 直接事業費のうち、大部分を占めるその他の活動費の仕入原価、箱代、印刷代は、物流センターの整備ということになるのであろうか。
- ✓ 経営を継続的に行うために多様な組織の連携、人材育成等が必要と考えます。
- ✓ 地域特産品の販路の多様化などを図る上で、それを可能にする施設を整備する必要がある、とされている。解決したい課題とそれに対する解決手法や方針は明示されているが、その活動により「めざす目標設定のうち地域効果に関する部分」、さらには「実現したい10年後の地域イメージ」が、結び付きにくいと感じた。
- ✓ また、事業の実現性、高度化を図る上で、地域と企業の連携は重要な展開であり、本プランにおいても(株)EVENTOSの参画が想定されている点は評価すべきと思う。しかし、地域・企業連携により展開する事業パートやそれにより得られる効果についての記述がなく、申請にあたっては、こうした

点を明らかにしておくことが望ましいと考える。

- ✓ 3つのエリア又広島県エリアのテーマ、解決すべき社会の諸課題、実行団体に期待する活動概要とマッチしているといい難い。
- ✓ プラットホームまたは拠点整備に関する費目が計上されていない。採択の場合は予算全体の見直しが必要。
- ✓ メンバーが高齢化していくことで運営は早々に厳しくなっていく。人材育成やいろいろな方との連携などを意識して取り組んでいただきたい。
- ✓ 目的や目指す姿は評価できるが、この手段が達成につながるのかというところは申請書からは十分には読み取れない。
- ✓ 狩留家なすの販売を拡大するためには物流やPR、それらをコントロールできる人材が必要。そこについてはヒアリングで確認していただきたい。
- ✓ 採択された際には、伴走支援で後継者づくりや人材づくりに留意していただきたい。